

【これから世界も経済も「どんどん多極化」していく、
ということについて考える！】

⇒編集後記で

(11月10日メルマガ号より)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【以下は現在メルマガで行っている、
証券会社のトレーダーランキングでも3位になった

年収6億円FXトレーダー・山之内の
トレード講座です！

学ぶ意志のある人は職歴、学歴、前科問わず
学べます。投資の良いところは機会平等があるところです】

(現在 中級編までブログ更新)

山之内流【プライスアクション】についての
動画です！

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=238>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

NEW！【中級編・FX動画！！】

山之内流のグランビルの法則とダウ理論について

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=233>

【初級編は以下です！】

山之内流 水平線/トレンドラインについて！！

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=177>

【年収6億トレーダーの

「今週の相場解説動画（11月4日～）」が届きました！】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=221>

**（直リンク。こちらのページからPC、スマホなどの
環境で再生可能です！）**

【新・動画！】 山之内流「必勝のチャート」とは！？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=115>

【年収6億円】 山之内流

トレンドとレンジの見分け方

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=89>

【動画】 年収6億の mindset とは？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=72>

<動画> 【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

**<動画> 【FXで年6億円を稼ぐ
山之内流 時間軸の法則とは! ?】**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=170>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

さてさて 今日の日曜日です。

いや～今週の相場はガッツリ儲かった人が多かったのではない

でしょうか。

トランプ大統領様がこれは後付けではなく事前に書いたように

ジャブジャブマネーの実質 QE4 と利下げで不正吊り上げを行っていく

シナリオ書いてましたが、

まあほんとあの人はその通り動いてます。

あれはほんと NY ダウなんかは

あからさまな株価の不正操作なんです

ただ権力者を裁ける人がいないのが現実なので

これはこれで乗っかって大きく儲けた人が

株式トレーダーが多かったのが

先週でしょう。

さて、そんな感じでアメリカは QE 4 を実質は開始して

これからジャブジャブマネーをトランプ様が大統領再選に向けて

行っていくわけですが

(ちなみに大多数の人は上がった後に仕込みますがそれだと

遅い。世間が米中なんちゃらで不安であった数ヶ月前に

仕込めていないといけないですね)

ただやはりあのアメリカの債券金融市場を QE4 で買い支えるという政策は

時限政策であるから、

やはりアメリカは以前から書いてるように

短期～中期ではまだありでも

10年単位の長期では怖い、となりますよね。

それでここでどンドン力を増してるところがあって

そう、それが・・・

中国、

ですね。

それで私のメルマガでは中国が崩壊すると

やたらプロパガンダされていた2010年くらいから

ずーっと中国が世界の覇権国になっていくなんてことを

馬鹿にされながらも扱っていたのですが

これからやはり中国が無視できないってのは

今は徐々に人々が気づいてることです。

それでこれからの世界がどうなるか？というと

やはり「多極化」が進んでいくんですね。

多極化っていうとなんか分かりづらいかもですが

簡単に言うと、今までアメリカ（裏にイギリス諜報）が

一強だったんですが

これから世界全体で地域覇権国ってのがそれぞれ立ち上がって

それがバランスしながら、まさに多極でして

それで世界経済が回っていく状態になるわけです。

トランプ大統領はそのための準備作り、をしている

ってことです。

この辺を今から知っておくと、おそらく

10年、20年後のあなたの有利につながりますので

今日はそれを書きます。

ネットが当時 WINDOWS 9 5が出たとき

「ネットの時代になる」と言って勉強した人たちは

20年くらい経過して今金持ちになってるけど、

それと同じ現象がこの多極化に現時点で気づいてるかどうかで

出てきそう。

みんなが気づいてから気づいても遅かったりするのでは

今から知っておくとよさそうです。

編集後記で！



**NEW!【中級編【プライスアクション動画】が
山之内さんから届きました!】**



さて、それで今日は大変勉強になると好評な

山之内さんの 無料FX講座ですが

新しいプライスアクションの動画、が届きました!

こちらプライスアクションに関してはよく

メルマガでも扱ってるのですが

是非見てみてくださいね~

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

山之内流【プライスアクション】についての

動画です！

年収6億4000万円を達成した山之内は

一体どのようなプライスアクションを取り入れてる？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=238>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

また以前までの動画はこちらになります。



(現在 中級編までブログ更新)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

NEW！【中級編・FX動画！！】

山之内流のグランビルの法則とダウ理論について

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=233>

【初級編は以下です！】

山之内流 水平線/トレンドラインについて！！

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=177>

**【年収6億トレーダーの
「今週の相場解説動画（11月4日～）」が届きました！】**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=221>

**（直リンク。こちらのページからPC、スマホなどの
環境で再生可能です！）**

【新・動画！】山之内流「必勝のチャート」とは！？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=115>

**【年収6億円】山之内流
トレンドとレンジの見分け方**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=89>

【動画】年収6億のマインドセットとは？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=72>

<動画> 【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

**<動画> 【FXで年6億円を稼ぐ
山之内流 時間軸の法則とは！？】**

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=170>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、それで今日はこちらの山之内さんから

あなたにメッセージです！

↓↓

つまり“値動き”そのものを分析して

チャートに刻まれた投資家心理を読み解き、
相場状況を判断していく分析手法です。



その中でも代表的なプライスアクション、

いわゆるピンバーと言われるもの。

トンカチなどいろんな呼ばれ方はありますが、

ヒゲの長いローソクのことを表します。

動画内のチャートは全て円に纏わる

チャートを出しております。

(左上ドル円、左下ユーロ円、

右上オーストラリアドル円、右下ポンド円)

この中でパッと目に付くのはユーロ円ですが、

移動平均線が綺麗に右肩上がりに並んでいるので、

当然ながら移動平均線に迫ってきた

安値を拾ってロングを狙っていくタイミングではありますが、

ここに一点気になるローソクがあります。

MT4のチャートでいうと、2019年10月21日8:00ですが、

先週の高値を抜けきれず売りの長いローソクを形成しています。

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=238>

その後、ずるずるとローソクが下がっていき

もう一度上昇を狙うも、

抜けきることが出来ずにまたずるずると下がっていき、

もう一度高値更新を狙っていきませんが、

ひげの長いローソクを2本継続し、

ものすごい勢いで下がっていききました。

ただ、崩れかかってはいますが、

移動平均線が3本並んでいる状態を継続しているので、

まだここから売り目線に切り替えるには

早いんじゃないかな？と思います。

最後に大きく下がったところから

逆張りする方もいらっしゃるのかなと思いますが、

高値を大きく抜けていった時の方が

損失が大きくなってしまいますので、どちらかというと、

抜けていくのを待った方がいいのかなと思います。

このように、ピンバーが出たからエントリー。

ということではなく、ピンバーが出たから

~~~~~

エントリーを避ける。

~~~~~

というような環境認識ができれば、

ひとつまた損切、損失が減るのではないかなと思います。

※ポイントとしては、基本的にはレンジの中で出た

上髭の長いローソク、ピンバーというのはあまり気にしません。

最高値、最安値付近で出たいわゆるトレンドに蓋を

~~~~~

するかのように出たピンバーには

~~~~~

注意して目を配った方がいいのかなと思います。

~~~~~

例えば、下降目線で言うと、下落した先で下髭をつけ、

全くローソクの実体の無いものが出たら、

もう少し利伸ばししたくても、

ここで決済しておいた方が安全かなと思います。

今回のお話が、一つの参考になれば幸いです。

=====

以上です！

それで今回は「プライスアクション」についてですが

もうプライスアクションは稼いでるトレーダーたちは

最近みんな使っておりますよね。

それで山之内さんも例外なく使ってるわけです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

山之内流【プライスアクション】についての

動画です！

年収6億4000万円を達成した山之内は

一体どのようなプライスアクションを取り入れてる？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=238>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それで、この山之内さんのプライスアクションの  
説明見て、たぶん結構メルマガで学んでいただいている方は

「あ、これは・・・」と思った方いらっしゃるかと

と思いますが

そう、これはアメリカのトレーダーがよく使う

**False Breakout PriceAction 騙しブレイクのプライスアクション**

ですね！

これは以前に6月くらいにメルマガで扱って

PDFでも配布してるとおもいます。

これ。

こちらはエンゴルフンバーですが

基本ピンバーと同じように使います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート（画像で）

【アメリカのFXトレーダーが最近使うプライスアクションを学ぶ！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/false\\_breakout.pdf](http://fxgod.net/pdf/false_breakout.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それであとはこの前扱いましたが

この画像も結局 False Breakout Priceaction の

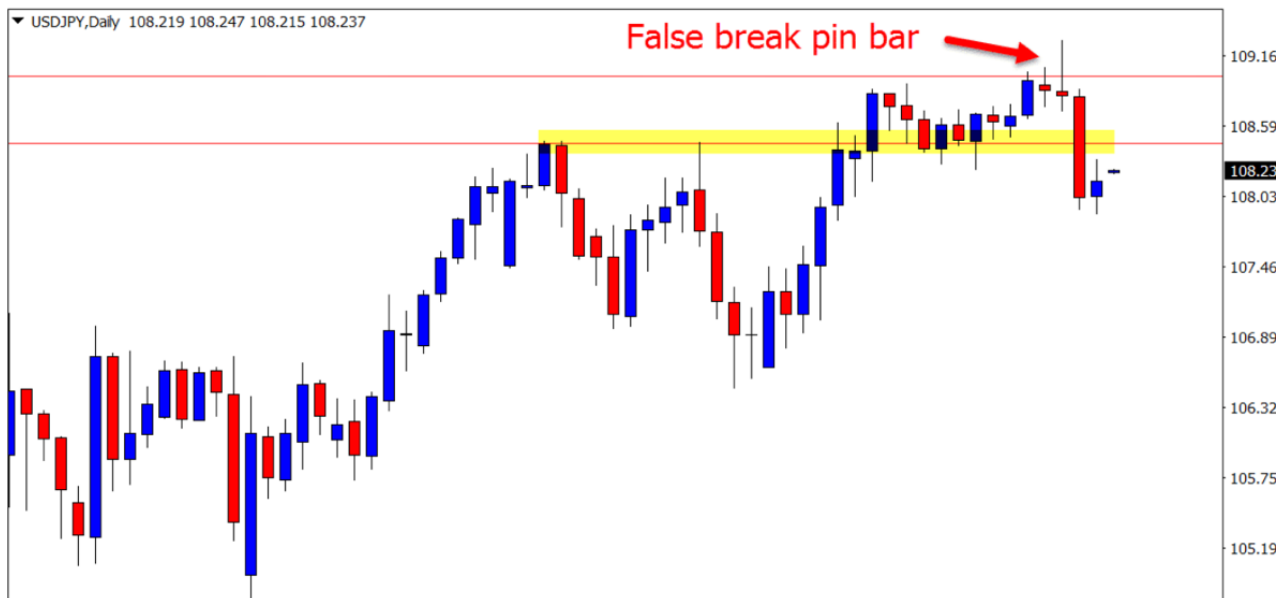


ピンバーバージョンですね。

(画像) False Breakout Priceaction (騙しブレイク後ピンバー) の例

<http://fxgod.net/gazou/trade/201911042.PNG>

## Daily Chart



一応こういう形が 利益伸ばしてる間に出たら

利益確定するなり念のため逃げましょう、

っていうのが大変大事ですよ。

一応ピンバーはエントリー根拠にもなるのですが

山之内さんもここはピンバーで決済なり逃げる根拠を

作って出口戦略作ってるよ～

っていう話です。

それでこの辺のプライスアクションの話ってのは

「あ、そうなんだ～」っていう座学の部分は

あるんですが

やはり検証しないと身につかないから

是非検証してみると良いと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

山之内流【プライスアクション】についての

動画です！

年収6億4000万円を達成した山之内は

一体どのようなプライスアクションを取り入れてる？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=238>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

だからまあ、世界中でアメリカ人でも日本人でも

稼いでるトレーダーはほんと似たような判断を使っている・・・

と言えますよね。

それで山之内さんの場合は、そこで「仕掛けてる通貨ペア」

つても通貨相関で「強い通貨」と「弱い通貨」

を探し出してそれで

絞り込んでるわけですし、

そのような相関でまずは大きく見て、

それで特定通貨で仕掛けた後の細かい利益確定ポイントとか

はこうやってプライスアクションも参考にする

という感じなんですね。

それでその際にパーフェクトオーダーなんかも判断基準として

見ているというのはしっかり知っておきたいところですね！



**プライスアクション使ったトレール**



さて、それであとは現役でもうずっと使えてる

トレール手法ってのがあって

これはずばり「負けないために」大事なのですが

追記として書いておきますが、

以前にも書いたので検証されてる方多いと思いますが

それが「プライスアクションを使ったトレール」ですね。

一応FXでもっとも難しいのは以前にも書きましたが

「出口戦略」ですよ。

実のところ、エントリー値はどこでも良い

という考え方もあるわけです。

これは以前に書きました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【エントリーよりもエグジット（出口戦略）のほうが100倍大事】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/exit\\_importance.pdf](http://fxgod.net/pdf/exit_importance.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

そう、本当は出口をしっかりと入ったら用意してあげる

ってのが大事なんですね。

普通はみんなエントリーしか考えないものでして

一度相場に入ったら「出方が分からない！」となるわけで

それはまるで迷宮に最初飛び込むのだけど

入ってみたら出られない・・・

みたいな状況です。

ドラゴンボールとかで「精神と時の部屋」って

ありますよね。

あれって一度入るとしばらく確か出られなかったと

と思いますが

あれと同じで一度相場に入ったらうまく出られない

みたいな問題が実はあるのですが



逆にうまく出たら負けずに

利益で終わらせられるわけです。

それでそのために、「どんなときも

逆指値決済で逃げる」という方法があつて

それがトレールですが

トレールの場合は

損失の場合も当然逆指値、

あとは利益の場合もこれまた逆指値のストップで

利益確定される形となります。

だからある意味「出口戦略がシンプル」と言えるわけです。

## OCO 注文の 買いの場合だったら

上に指値、下に逆指値、みたいな煩雑さはない

シンプルさがこれまたあります。

それでトレールの際に使えるのがプライスアクションで

「

1・買いの場合ならエンゴルフンバーが出たら

その安値のちょい下にストップ、

2・買いピンバーが出たらその安値の下にストップ

(ピンバーの場合は、やはり MA にタッチしてる、などのピンバーを使う。そうじゃない場合のピンバーは無視したり)

」

こういったプライスアクションを使って買いポジ持ってるときは

どんどん引き上げていってトレール方法は

やっぱり・・・鉄板ですね。

今の2019年11月12日の相場でも

やっぱり使えている鉄板トレール方法です。

それでこれプラス、

「

3・買いの場合ならダウ理論で高値更新したら

その前の安値の下にストップ置く

」

っていう3つのトレールルールをあわせる方法を

私なんかはよく使いますが・・・

まあ良かったらぜひあなた自身で

検証してみてください。

負けることが相当減るはずですよ。

(その代わりに利益出たときだけ

4時間足なら4時間に1回はチェックするので

少し面倒です)

このプライスアクショントレールなんかは

よくプロトレーダーで使われてる方法なんですけど

実のところ、それは小さな時間足に落とすと

ダウ理論の高値安値更新の話になるんですが

このトレール方法はほんと良いんですね。

それでなんでこのトレール方法が良いのか？というと

理由は一つで 相場の本質的考え方があって

それは「トレーダーが決められるのはストップだけ」

っていう考え方があるんです。

「利益を決めるのは自由市場の相場様だけ」

という考え方です。

だから常にトレールで追っていくんだけど

相場が元気なときは利益伸びるし、

そうじゃなければ微益で終わったりもします。

ただここで 損きり、利益確定いずれにしても

逆指値で終わるというシンプルさがあって

さらに相場の本質に沿ったポジショニングが出来るので

だから強いのですね。

あとは以前に書きましたがストップとして

例えば最初50 PIPS 計上していたとしても

その後、トレールしていくとストップが

上記のプライスアクショントレールで30 PIPS とかに

狭めることができるケースがよく出てきます。

だから「ストップを狭めるのが簡単になって

トータルとして負けのときの金額を減らせる」

ってのが実は上のトレールの強い点ですね。

損失になっても最初2%で設定してるのに

上記トレール使ってるると損失1%で済んだり・・・

ってのは結構あるんです。（ただ勝率にはあまり影響与えず）

だから是非このプライスアクションを使ったトレール

なんかは徹底して検証してみると良いかもしれません。

ということで実はプライスアクションの

「負けない技術」って沢山あるんだけど

この山之内さんの語ってるところも大変重要な

英語圏でも使われてる False Break PriceAction

=騙し後のサポレジのプライスアクション

ですから是非これは知って、

そして知るだけでは意味がないので、

それは自転車の乗り方知っても乗れないのと一緒で

FOREX TESTER なりで検証するとさらに使えるので、

是非あなたの未来のために

検証してみてくださいね！

多くの人は情報を知らないから色々



お金稼ぐのは難しいと思ってますが

実は大変、本質を捉えていれば

お金を稼ぐってシンプルなんですネ～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

山之内流【プライスアクション】についての

動画です！

年収6億4000万円を達成した山之内は

一体どのようなプライスアクションを取り入れている？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=238>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

追伸・・・それであと付け加えますと

チャートチェックする余裕がある場合、

上記のトレール方法なんかは

一度エントリーすればあとは

利益出たら トレールについてはスマホで

外出先でも追っかけられるのですが

(私も今外出先で追っかけながらカフェで

メルマガ書いてるわけです)

そこで、チャートチェック細かくできるようであれば

買いのケースですと

上の 1エンゴルフンバー 2ピンバー

3ダウ理論 でのトレールがありますが

そこにまた出口戦略として

上の False Breakout Pinbar 騙し後のサポレジ付近の

ピンバー、もしくはエンゴルフンバー

を利益確定の基準として4番目の要素として

プラスして使うと良いですね。

だからイメージ的には利益確定のときは  
グイグイとストップをトレールであげていきますが

そこで4の騙し後のサポレジ付近の  
逆行ピンバーとかエンゴルフインバー  
これが出たら逃げるってのも追加すると

利益効率はより高まるケースが増えますね。

正直 1～3のトレールだけでも十分な感じは

ありますが

それに4も加えるとより伸ばしやすい

ということです。

それで上記のような考え方は多くの人知らない状態ですが

実は結構シンプルなものにして、

それはFOREX TESTERなり紙にチャート印刷したりなどして

検証しますと

ちゃんと身につきますからその繰り返しを

半年～1年くらいやるわけです。

そしたらあなたの将来につながる可能性は

極めて高いです。

それで初心者の方は、今号の内容

ちょっと難しい！と思うかもしれませんが

今号の内容は高校生くらいでも分かるように書いておまして

義務教育受けてる方なら何度か見直したら意味は分かるはずなので

職歴も学歴も前科あるなしも美醜いかんも

貧乏であろうが金持ちであろうが

誰でも 検証なりをする人なら公平に

スタートできるのが投資、市場ですので

是非是非

最初は分からなくても何度も見直したら

分かるはずですので

その上で検証なりしてみてくださいね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

山之内流【プライスアクション】についての

動画です！

年収6億4000万円を達成した山之内は

一体どのようなプライスアクションを取り入れている？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=238>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、今日は

**「世界がこれから多極化していく」ということについて**

**改めて書きたいと思います。**

ちなみにこの分析のオリジナルは私はちゃんと書きますが

田中宇先生でして、

彼が昔からずーつと言ってきたことです。

が、やはりなかなか人々に納得してもらえなくて

無視されていた言論であったけど

もうこの数年の流れ見る限りどう見ても

世界の多極化は進んでるという評価になります。



私なんかもこの多極化論ってのは

結構メルマガで

長いこと扱ってきた経緯はあるのですが

もう最近は・・・「間違いないな」みたいな感じですよ。

というか既に多くの方はまだ気づいていないけど

**「既に世界はアメリカ帝国化が終わりつつあり**

**多極化する世界に突入してる」**

と言えます。

私の場合、色々な国の人と話したりするので

この前はアフガニスタン人と話したのも扱いましたが

そんな流れで「あ、もうこれ多極化間違いないな」と

確信をしてる感じです。

いずれ、多くの人が5年とか10年とかして

遅れてようやく、気づきだすでしょう。

逆に今気づいて早めに動いてる人は、色々恩恵を受けるでしょうね。

それで、この多極化ってのはなんかイメージ的に難しい？

かもしれませんが

簡単なことで、男性だったら漫画の幽遊白書ってのが

昔すごいヒットしたと思うのですが

あれと同じなんです。

あそこで 四聖獣 っるのが出てきて

いわゆる四天王みたいなのが出てきて

彼らが4つの四天王としてバランスを取って

魔界を支配していた、というストーリーが確かあったと

うる覚えで記憶しているけど

まさにそんな感じに世界はなっていくんですね。

今まではアメリカ強でしたが

それが、アメリカは帝国、世界の警察官から降りまして

それで北米大陸ではアメリカとかカナダみたいなところが

一定の影響力を保持しつつ、

アジアでは中国とか統一朝鮮とかあとは

日本？とかが一定の局として機能して

(日本はそこで中国の属国になるか、EUにおける

フランスのように権限保持できるか、今微妙なところ)

あとは東南アジアだとマレーシアとかインドネシア

あとは中東だとイランとかですよ。

あとはロシア、なんかになっていくわけですが

こうやって地域にそれぞれ局ができてきて

それで世界経済がバランスを保って、成長率を上げていく

みたいな世界経済モデルにこれからもう間違いなく入っていく

わけです。

ちなみにこういう大きな世界経済のデザインをしてる人間ってのが

いて、その1人がアメリカのキッシンジャー博士とかでしようが

そういうまあすごい財閥なんかがバックにいるでしようが

彼らが結局世界の経済状態をデザインしてるとしかいえませんが

そこでトランプなんかはそのエージェントなんですね。

この見方でのみ、色々な細かい政治現象なんかが

分かるわけです。

この辺を扱ってるのが国際関係論とかの学問ですが

さらにそれが発展したのがこの多極論でして

これは学者でいうと日本だと田中宇が第一人者である

と言えると思います。

(ご本人は学者のつもりはないでしょうが、やはり

その辺の国立大の教授なんかを飛びぬける頭脳を持つてる人)

それでこの世界の多極化ってのは資本家の論理ってのが

あるんです。

よく「トランプを正義の味方だ」みたいな感じで支持してる人いるけど

私はそうは思っていないくて

彼は単純に「多極化させたほうが世界経済の成長率を

保てるからそのために動いてる」

だけだと見てます。

世界経済の成長率を保てば投資家は儲かるんですが

あくまで投資家が各国に投資して儲けやすいように

世界をリ・デザインする、という極めて大きな考え方が

存在してるわけですね。

それが多極化です。

すなわち、アメリカ一國が帝国として今まで

世界の消費を担っていた。

アメリカ人はクレジットカードでとにかく消費して

消費して全然貯蓄ないんだけど

あれはアメリカ人たちに消費させてなんとか

世界経済の成長率を保っていたわけですね。

その構図に日本も入る。

が、それだと経済成長の効率性ってのが世界全体では

落ちて、

例えば今までだと北朝鮮とかフィリピンとか

あとは中東とか、南米がそうですが

これらの地域ってのがどんどん貧困化するわけです。

そこに中間層はいない。

これは世界全体の経済成長にとってロスが大きいっていう

考え方でして



だから「世界全体に中間層をどんどん誕生させて

彼らにバンバン消費させて 世界経済の成長率を上げよう」

っていう考え方があるわけでした

今おそらくキッシンジャー博士たちが

中国を肥大化させてるのはそういう視点ですね。

とにかく中国人たちにどんどん消費してもらおう世界です。

あとはそこに中東とか東南アジアとかあとはアフリカとか

南米の新中間層が加わる。

ここで世界経済が発展すれば投資家は儲かるから

そのためのグランドデザインの設計をしているのが

キッシンジャー博士の下にいるトランプ大統領

といえるでしょう。

この大きな見方があれば、色々世界で起こってることの

目的も分かるし、これからどうなっていくか

もかなりの精度で分かってくるわけですね。



**トランプが行った米軍の中東シリア撤退の**

**本当の意味とは？**



それで重要なのが、この前トランプの中東シリアからの

米軍撤退劇がありました・・・

もうあれが「世界の多極化を確定的なものにした」

と言えるのです。

あの、先日のトランプの中東シリアからの米軍撤退についての

「正当な評価」が日本語ではほとんど引っかかりません。

それくらい情報統制されている。

けどあのシリア撤兵ってのは

9 1 1以降のアメリカの帝国覇権戦略の「中心」

であったのが中東地域なんだけど

そこにおけるアメリカの大幅な権限低下を示すもの

と評価できるんです。

今まで、どのアメリカ大統領も米軍を自国に戻すという

この戦略をやりたいがってもさせてもらえなくて

多くの大統領が挫折したり暗殺されたりしてましたが

**トランプは 米軍に利権がある軍産官僚を完全に**

**押さえ込んで、それを実現してしまったわけですよ。**

**もうあれは「アメリカの覇権の大幅な低下」**

**が政治現象としてまず予兆として出てきた**

**そういう現象なんです。**

**これはさすがにアメリカ帝国覇権があるからこそ**

**アメリカのバックのイギリス諜報がいるからこそ**

**権限を維持できた日本の官僚機構には極めて不都合な真実**

**ですから**

**だから報道されていないってだけです。**

ちなみにこの数年、私が書いてきたことが

例えば数年前に書いた

「北朝鮮と韓国が融和していく」ってことや

「アメリカが北朝鮮とくっついていく」ってことや

「ISISはトランプとプーチンが殲滅する」ってことや

大統領選挙のときには「トランプが大統領になっていく」

ってことや

金ゴールドが上がっていき、アメリカはQE4をやる

ってことや、

まあ色々あるんですが

それらは事前に書いてたのが全てこの

大きな流れに沿って書いてるのですが

それが大体概ねその流れになってるってのは

やはりそういった多極化戦略で進んでるってことですね。

それで今回のシリア撤兵ってのは、

その とどめの一撃と言えるでしょうが

もう「アメリカ帝国覇権が大幅低下することは避けられぬ」

みたいな意味を持ちます。

それで「これからじゃあアメリカの代わりに

どこが覇権もつねん」

っていう話になるんですよ。

それはやっぱり今のところ、中国やロシアなんです。

ただ、これが大変面白いところでもあるんだけど

中国やロシアは「私たちに覇権はありません」

みたいなフリしてるのが今の世界の情勢ですね。

あくまでも

「覇権国のアメリカが自分勝手やってる」と

彼ら中国ロシアは言ってるんだけど

本音ではもう自分たちに覇権が転がりつつあるのを

よく習近平も、プーチンも分かっている。



ただこれが大事なことで 本当に頭良い人ってのは

自分が権力者だ、とか言わないもので

そこで権力がないように、影響力がないように振舞うもので

それは日本の外務省なんかがそうですが

(日本ではだから財務省が一番強いとみな勘違いしてる)

ここで中国もロシアもまるで自分たちは

覇権国ではないような振る舞いをずーつとしている。

彼ら自身が世界の覇権が多極化していることを

自ら言わないのは、少しずるいんだけど

それはやはり覇権がアメリカにあるってことにしておけば

自分たちは責任取らなくて良いからです。

自分たちが覇権国と自称しないほうが

安上がりなんです。投資効率が低い。

大人はこう考える。

これは良い事例で言うと、例えば

どんな公立学校にもクラスに「学級委員長」というのがいて

選出されるけど どの学級委員長もそのクラスでは

力がないもので

本当に力があるのは番長みたいな人であったと

思いますがまさにそれです。

これはどの世界も一緒だけど、本当に力ある

カネのある人間ってのはなるべく

表に出ないのですね。

それで一応今はフロントの覇権者ってのはアメリカである

わけですが

実際はもう世界の影響力の強弱で言うと

中国やロシアのほうが強いのが本当のところですよ。

これは科学技術系のニュースでも中国が最近強いところから

多くの人はずうずう気づいてると思います。

ただこれは単純な話で世界の GDP 推移において

購買力平価単位の GDP 計算があるけど

そこだともう中国は GDP が世界一なのですよ。

このデータ見たら多くの日本人は

「だまされていた～」と気づくでしょうが

本当はもう中国が経済でも世界一なんです。

アメリカは 2 位。

世界の購買力平価 GDP(US ドル)ランキング

[https://ecodb.net/ranking/imf\\_pppgdp.html](https://ecodb.net/ranking/imf_pppgdp.html)

ただこれ中国がなかなか狡猾なところで

自分では一切これを言わないんですね。

「私たちは 1 位になった～とは言わず」

ここでこっそり1位になってるんです。

ちなみに購買力平価ベースのGDPが最初にあって

単純計算のGDPランキングがそれに追隨していきつつのが

マクロ経済の流れなんですが

だから中国は本当は自分のところの経済力が

世界一と分かってるんだけどそれを自分で隠して

動いてるってのが特徴的です。

それでその大きな覇権転換を進めてるのが

トランプ大統領なんですが

あの人が「やっちゃいけないQE4」をパウエル議長に

させてるのも

最終的にアメリカの債券市場数年後に大混乱に落として

ぶち壊して

中国ロシアに覇権を渡すためとしか思えないわけです。

これも私は事前に2018年年末あたりから

2019年年始あたりに

これからトランプがQE4 とそして利下げを進めて

株価高値を維持して再選選挙に臨むシナリオを

書いてましたが

ほんとそのシナリオに沿って動いてるわけでした

やはりトランプは覇権放棄屋です。

経済面でのアメリカ覇権の崩壊ってのも

今はNYダウが上がってるからみな感じ取れませんが

これもやはり以前に後付ではなく事前に

書いたように

やはりトランプの人気取りの一貫でして

あれは 銀行間取引市場のレポ市場について書いたけど

そこを使った実質QEであって

「やってはいけないQE再開」をしたっていうことで

これは短期～中期では株高をもたらすけど

長期的に、2020年代中盤あたりには

崩れることを見越しておかないといけない動き

なんですね。

それで興味深いのは日本の安倍首相なんかは

もうこれに気づいていて

ゴリゴリで対米従属を続けるフリをしてるけど

実は 国民には反韓国感情をたきつけながらも

裏で中国と関係強化してるわけです。

これは中国と何もせずに関係強化したら

自称愛国者（本当は単なる社会主義者）がうるさいので

だから彼ら自称愛国者が嫌いな韓国に対して

反韓国感情を作りつつ、



そこで安倍は中国と一気に関係を深めた。

だから今の日本は 田中先生が書かれていたけど

「両属」状態でした

アメリカと中国、両方に擦り寄ってるわけです。

これは実は地域周辺国で良く見られる現象で

マレーシアでも以前はナジブ首相がそうでしたし

韓国のパククネなんかもその気があった。

安倍首相なんかもそれに似ていて今は

対米従属しながら実は中国と関係強化するという

「両建て状態」なんです。

ただこれらの状態は「隠れ両属」みたいな状況で

多くの人は何となく気づいていないんだけど

本当はこの動きってマスコミが正常機能していれば

大きなニュースになるはずなんですね。

「日本は対米従属だけではなく対中従属も進めている。

これから日本はどのように振舞うか」

みたいな記事が出てきてもよさそうですが

これらは色々マズイので記事にはならないんでしょう。

本当はこの2019年は巨大な覇権転換が進んでる年

であります。



これからの多極化は「多重型」の構造になる



それでこれからの世界はまず多極化するのは

もう確定と言えるでしょうが

そこで「多極化の特徴」ってのがありまして

それが「多重型」であるわけですね。



すなわち各地域に覇権国があるんですが

それらが地域ごとにちよつと被ってる、みたいな

状況。

今まではこの多重的な状況ってのは権力者に嫌われていて

例えば冷戦終結までは

アメリカ（後ろにイギリス）とソ連なんかが

2分割されていたわけです。

この2極ってのは交わることはなかった。

明確に 色が分かれていたわけですね。

だから、西洋諸国と、反米諸国みたいな感じで

かなりくっきりとそこで 2分立で分かれていたのが

特徴的でした。

それで西洋諸国では「ロシアと中国が悪者だ〜」

というプロパガンダが結構良くされていて

それは2分立で世界を分けた場合のプロパガンダとして

必須のものです。

洗脳の最も簡単な方法は そのグループで

2分立、2つの極の対立を作って 2つの極を

コントロール下において 上から操作するという方法。

大体の民衆はこの分断統治に気づかないから

どっちかの2極に支持や思想が寄りまして

ここでコントロールできるんです。

このように2分断して対立させながら

既得権益の軍産が権限を維持するっていう

そういう流れだったわけです。

それで冷戦後に日本やドイツが経済台頭したわけですが

ここで日本もドイツも官僚たちが強いですから

そこである種去勢されてまして

「アメリカの傀儡になるか敵になるか」という

選択肢の中で

「はい、われわれ日本は独立なんて考えませんから

もちろん傀儡となります」と

いうことになって

そこで「アメリカもドイツもアメリカより弱いんです」

という演技をしてずっとやってきたわけですね。

日本の官僚機構は1990年代のバブル崩壊を

意図的に経済自滅につながるように誘導してますが

本当はあれはアメリカがやったというよりは

日本なんかの官僚たちが自滅的にやったというのが

史実の真実でしょう。

ちなみに官僚たちが経済が弱体化するのを知っていて

あえて 消費税なんかを上げまくるのも

それはやはり経済を弱体化させていくことが目的ですね。

官僚機構ってのは自国経済が弱体化すると

権限が強められますから本質的に

民衆と利益相反してるんです。

ただ・・・ここで官僚機構がN国党を警戒する理由でもあるんですが

彼らの「誤算」ってのがあって

これは大きな間違い、官僚機構の失態でしたでしょうが

アメリカ国内では実際は「アメリカ帝国覇権を放棄させたい」

という論者、おそらく米側の諜報でしょうが

そういう人が結構多かったし強かったんですね。

これが実は ネオコンっていう人たちですが



日本の官僚機構の失態はこのネオコン分析が不十分だった

というところに収束されます。

このネオコンってのは軍産と一緒にされることが

あるんだけど

どうも違って彼らは「過激にやって

そして失敗させてアメリカ帝国覇権を崩壊させていく」

という長期戦略を持ってるんですね。

例えばアメリカの軍産が大きな打撃を实际受けてしまったのが

イラク侵攻なんかで「大量破壊兵器がある」とか言って

それでフセインを殺したりしたわけですが

もうあそこで大きな打撃を受けたわけです。

大量破壊兵器なんてありませんでしたと。

また金融部分でも しっかり実需で発展すればよかった

アメリカですがそこで「あえて」債券市場で

サブプライムなんかで

バブルを作りまくって、自滅に追いやられているんですが

やはり諜報の世界になりますが

アメリカ国内の本当はニクソンとかレーガンなんかを

支持してる愛国者たちが

実際は馬鹿を装って過激にやって失敗させたというのが

歴史です。

ネオコンだとボルトンなんかが分かりやすいですが

私のメルマガでは 米朝首脳会談の数ヶ月前に

「ボルトンが実は北朝鮮の要人たちと話を進めてる」

なんてことも扱いました。

あれはだからネオコンの本質が出てますが

表向きは「北朝鮮に攻撃を」とか言うんだけど

裏では 平和的な米朝首脳会談が実現するように

動いていたわけですね。

これはメルマガの昔の記事残ってる人は

見てみれば分かりやすいと思います。

それでこの「過激にやって失敗させる」という

ネオコンたちの戦略を読めなかったことが

日本の官僚機構たちの失態です。

そう、今気づいても遅い。

もうこれからトランプたちが将棋でいうと王将を取る

準備をされていて

長年メルマガで扱っていた中東からの米軍撤退だけではなく

在韓米軍撤退についても言及してるけど

いよいよトランプの再選前後は在日米軍に

焦点が移っていく。

だから日本の官僚機構の失態ってのがあって

それがアメリカ国内の政治でこういう隠れ多極主義者の

ネオコンたちの戦略が読めなかったことですね。

それで日本の官僚機構はこれから5年前後で

かなり批判にさらされていく可能性が高まりますが

アメリカなんかはどんどん政治的に自滅を進めていって

最近はその空白地帯を中国やロシアが

埋めていくという事態になっております。

この多極化ってのはアメリカが一応表向きは

単独覇権ですが

そこでこっそり進んでるものです。

中国がこっそりとアメリカがいなくなった

空白地帯で経済面を支援してロシアが安保面を支援する

という感じで進んでいますね。

それで面白いのが 日本もそうですが

世界の多くの国々が表向きはアメリカの覇権の中に

いるように装いながらも

実際は中国ロシアの覇権下に入っていくという

多重型の構造になってきているということです。

それでこれが中国やロシアの戦略と思われまして

自ら表向きで覇権国を自称はしないのですが

そこでアメリカにフロントの覇権国を自称させておく

わけですが

その裏でどんどん中国とロシアが覇権を強化していくという

ものですよね。

自分で覇権国自称すると色々責任取らされたり

大変ですから。

それで日本なんかを見ているともう分かってしまうのが

これからどんどん中国に負けていくだろうということです。

一応最近では安倍なんかは対米従属を表向きしつつ

中国包囲網なんかに参加する演技をしつつも

実際は中国と裏で仲良くして対中従属するという

両属状態になってるのですが

これもやはり官僚機構がどうしても強いから

ってのがありますよね。

官僚機構が強すぎるために

安倍であつても表向きの対米従属ははずせない。

ちなみに私はマレーシアにいるのですが

マレーシアなんかだとやはり王様の信頼ってのは

厚いものがありますが

日本でも皇室があるわけです。



ちなみに私は皇室に対して悪い印象もまた良い印象も

特にないのですが

ただ事実として日本の国体ってのは

**「君主制国家の中に民主主義が入れ子になってる構造」**

でして マレーシアに近いけどこれは事実です。

それでここでは皇室ってのが実際は日本人を強化しうる

潜在力を持っているのですが

この皇室を幽閉するってのがやはり官僚的には大事なことで

**だから宮内庁長官であったり侍従長は歴代が、イギリス、アメリカの軍産の**

**手下である日本外務省から出ているんですね。**

**(ちなみに日本の外務省はアメリカの國務省に相当します。**

**両方とも軍産側)**

それで日本の右翼ってのは偽右翼でして

アメリカとかイギリス諜報の犬でしかありませんので

ここで彼らは外務省官僚たちが

間接的に宮内庁長官を介して

皇室を幽閉してることに文句を言わない

わけですが

そういう意味では日本の本来の右翼は存在しない

ともいえます。

これは田中宇先生が

「日本の真のナショナリズムは三島由紀夫とともに死んでいる」

と書いてるけど重要な指摘です。

日本は自称愛国者の似非保守しかいなくて

本来の保守本流みたいな人らが消えてしまったわけですが

それが

おそらく日本の民衆の弱体化につながってしまっている。

また日本の左翼というのもこれはこれで

官僚の犬ですから、

日本の右と左を官僚の支配化に置くという

大きな官僚の 対民衆戦略は成功してしまったわけですが

それが日本人の不幸であります。

それで日本の場合はアメリカがこれからもっと衰退して

それで一緒に弱体化する方向性を取ってるので

そこで日本は本当の意味で独立国となることなく

中国へさらなる従属を余儀なくされますから

そうになると官僚機構の罪は極めて大きいといえると思います。

本当は保守本流が

田中角栄の意志を受け継いだ

2009年の小沢鳩山の動きであったけど

それを気づかずに彼らを左と思い込んでる人が

(洗脳された人が)

日本では多いわけですが

この思想・世論工作の成功ってのが日本の官僚たちが

民衆以上の知能を持っていたってということでもあって

民衆は官僚機構に負けてしまったから

必然的に貧しくなってるってのが日本の現状ですよ。

この辺は私の母国のことなので考えさせられるところです。

それで日本は対米従属から逃れられないので

対応に後れを取ったので（2009年時点からの小沢鳩山政権での

対応であれば早かったけど少し遅れてしまっている）

現状このままアメリカのQEの効能が切れてしまうころに

大きな金融崩れに巻き込まれそうです。

そのための対策はやはり必要ですね。

それで世界的に見ると、全体的に

最近では米中両属の多重型であることが多いのですが

マレーシアなんかはそうですが

最近では中国の影響が強くなっています。

それで以前にアフガニスタンの話も書いたけど

やはりアフガンなんかは中国の影響が強くなるでしょうし

中東も、中南米もそうになっていきそうです。

また最近では中国のテレビ報道なんかを見ていると

アフリカ特集が大変多くてアフリカに多くの中国人が

入っていき影響力を高めています

**アフリカでも中国の影響力はすごい。**

**また東欧もどんどん中国の影響下に入ってます。**

**最近はどう見ても中国の世界影響力が**

**アメリカを抜いてるわけです。**

**ただ一応表向きはまだ、アメリカが覇権国ですね。**

**それで中国なんかは各地でインフラ整備を行っていて**

**そこで経済支援する代わりに**

**その国のエネルギー資源の利権を長期的にもらっていたり**

**しまして、**

**もうここで一带一路を交えて**

**関係国と WINWIN 関係を構築していて**

**この辺はビジネスがやはり華人ですからうまいんです。**

**ちなみに、最近は多くのアジア国に**

**日本の大金持ちたちが移住していて**

**私も色々話すことが多いけど**

**資産何十億とか何百億とかあるような人がいて、**

**彼らのような人ほど、これに気づいている。**



**中国の影響力は無視できないどころか**

**もう中国とくっついてビジネスやりだしてる**

**日本の本当の超富裕層は増えてます。**

もう実質は、本当は中国が世界の覇権国になってきている。

それで経済面は中国なんだけど

安保面を担当してるのがロシアでして

ロシアがこのアメリカの覇権が抜けた国々に

高性能な兵器であるS300とかS400を売っていて

これはアメリカ産の兵器より質は良いのに安いから

多くの諸国で買われている。

だから世界の流れってのは

アメリカというかトランプが覇権を放棄するように

動いてるんだけど

そこで愛想尽きた諸国が中国ロシアとくつつくという

流れでして

そこでは一応表向きは対米従属してるんだけど

実質は対中従属、みたいになってきてます。

これはもうほんと最近の全ての国で起こってること

ですね。

例えば北朝鮮なんかもこれから中国が

トウ小平がやったように金正恩が資本主義に近いものを

導入していくでしょうが

そこでやはり中国の影響力は極めて強く

安保面ではロシアなんかがやることになるんでしょう。



これからの世界構造の話



それでこれからの世界はなんとなくですが

「大きな枠組みは共産主義なんだけど

それぞれのセクターで資本主義の構造が導入される」

といったようなそういう構造になっていきそうですね。

これは以前書いたことですが

中国自体が それこそ共産党支配の中の

資本主義みたいな2重構造になってる国ですが

それがこれからの世界の大きな構造になりそうです。

例えば「シェアリング」なんかも

所有権を放棄すると言う意味で共産主義から来るものだけど

それが資本主義的に競争が起こって

民間企業が台頭していくわけですが

大きな枠組みでは共産主義は残るんですが

それぞれの社会では資本主義ルールが機能してる、みたいな

そういう構造は最近見えてきてますね。

これは私はなんか嫌だな~と思ったりもしますが

大きな世界の潮流なんでそれはそれです。

ということでこれからどんどん世界の覇権構造の

多極化ってのが起こってきそうです。

それでアメリカが帝国として一強支配ってことでも

なくなってきた

まず中国やロシアなんかが台頭するでしょうが

ここでまたインドやらイランやら、

マレーシアやら、南アフリカやら、ブラジルやらで

どんどん中間層が誕生するわけですね。

そこで中間層が誕生するのですから

各国が一応資本主義の純度が高いシステムを

導入することになりますので

そこで競争が行われていき、各国の新中間層たちが

消費して世界経済が成長率を維持していくという

時代になっていくわけです。

私は海外に住んでいて感じるけど

もうどの国に行ってもマクドナルドがあり

スターバックスがあり、ショッピングモールがあり

という感じで特に個性がなくなってるんだけど

それは大きな枠組みが上に書いたようなものだからそうなるんですが

ここでスモールビジネスの人らってのも

どんどん生産性をあげていき中間層に昇格して

そして消費を担っていく一員となるわけです。

そこで投資家は企業に投資して、企業が売り上げ立てて

なんとか世界経済は回っていくという時代になってきますね。

だから今までは、年収数百万円の中間層ってのが

米日欧の先進国に固まっていたわけですが

これが世界中に広まっていくのが今後

20年～30年の地球経済の動きなのでしょう。

まさにだから所得つてのも

中間層の所在地つてのも多極化していくわけですね。

どの国の人でもスマホなりを持ち

(新しいデバイスが登場したらそれを持ち)

そしてVRを楽しみ、そしてシェアリングエコノミーで

暮らしていく、みたいな時代になる。

それは結局、監視社会化が進むつてのと同じでもあるけど

これは好き嫌いの話ではなくてやっぱり

冷酷に分析するとそうなっていく

んでしょう。



ただ、これ私の中国の友人が言っていたけど

「監視とか自由がないとかそれは嫌じゃないの？」

って聞いたら

「うーん、まあけどお金あって楽しく遊べて

暮らせてるしそれならまあ別にいいかなって思っちゃう」

と言っていました、これが人類の共通認識ですので

なんだかんだ人類はそんな感じでこれから生きていくのでしょう。



保護主義とは反対に世界はより

本当の意味でのグローバリゼーションが進む。

そして大企業から個人への多極化も進む。



それでいよいよこれから

「世界が本格的にグローバル化していく」

とも言えます。

トランプ大統領が保護主義だから

じゃあ世界は保護主義で鎖国状態になるか？

という違うんですね。

実は最近中国が

「トランプがあんなだから

私たち中国が世界のグローバリゼーションをもっと

進めていって世界の交易を進めないといけない」

みたいによく英語放送局で言ってますが

だからこれから単純に世界のグローバルの交流ってのを

中国が推進していくことになるわけです。

だからいよいよ世界中が本格的に交流する時代ってのが

もう10年20年したら来るわけですね。

簡単に言うと、

マーケターのアメリカ人のAさんが

日本人のBさんにデザインを依頼して

インド人のCさんがプログラム書いて

そのプロダクトを中国で売る、みたいな

感じになります。

それでこの多極化っていう現象は

国単位のマクロで進むと思われませんが

それはそのまま経済構造にも影響を及ぼすんですね。

経済構造だと日本だと大企業があって

その下に下請け企業や孫請けがあって

っていう感じで

ある種大企業帝国になってますが

これも多極化していくわけですので

そこで中小起業家や個人たちがこれまた

台頭してきて経済構造のいったんを担うことになる

わけです。

どんどん下のミクロの構造にも

世界のマクロの多極化構造が降りてくるってのが

面白いところです。

だから最近「個人で稼ぐ人」なんかが増えてるってのも

大きな世界の潮流なんですね。

それで、そこでは「個人が AI を使いこなして

ビジネスアイデアを作ったりそこに投資したりする」

んですが

ここで中小のスマールビジネスの人たちが

経済を担っていくわけです。

だからこれはもうアジアで見られる光景だけど

スターバックスを取り囲む若い起業家のカフェなんかが

結構見られるんですが

(韓国なんかがそれです。)

こうやって、中小の個人たちが台頭していく時代にも

なってきますね。

これはキツシンジャーの思想でもあるんだけど

そこで個人たちが AI も VR も自分のビジネスで使いこなして

生産性をあげていくわけで

そこでは かなり「小さな社長」が増える社会です。

これからそうなっていきまして、

もう既に日本以外だとその兆候が良く見えます。

トランプ大統領がやたら

「俺はスモールビジネスオーナーを応援する」

とか言ってるのはその思想に沿ってるからです。

だから今の時代、大企業に就職して安泰という考え方は

かなり古いですし、

また帝国であるアメリカに留学しておけばよいなんてのも

かなり古くなってる考え方ではあるわけですね。

大きく世界の構造が多極化していき、

それは私たち個人の小さな価値観までにも影響を与えるものですから

その時代の流れを知って

人生の戦略を立てるのが大事になりそうです。

それでは！

ゆう



追伸・・・それでこの多極化が世界に与える影響

ってのはもう沢山あって、

それは教育についてもそうです。

義務教育はもう私の読者ならご存知のように

「ロボット人間を作るための教育」ですよ。

【義務教育は洗脳の音声】

<http://fxgod.net/onsei/gimukyoiukhasennou.mp3>

労働者育成教育です。

あれは古くは、音声プレゼントでも言ってるけど

イギリスの産業革命時から来てるものです。

「思考力が抜き取られた、ルーティンワークを疑わずにできる  
時間通りに動く労働者を大量生産する仕組み」が義務教育でした。

が、これ事態が古くなってくる。

マレーシアなんかはもうそれが分かっている

「みんな一緒に同年代集めて

40人とかで教育」なんかの教育システムは

徐々に変化させてきています。

それよりはホームスクールとか少人数制で

カリキュラムも暗記ではなくて

「考える教育」にシフトしてます。

これからの世界は多極化していくと必然的に

大企業に入って思考停止しながら労働者みたいな

生き方だと生きられませんから

そこで思考力が要求されてくるので

思考力向上の教育がこれからの時代必要になるんですね。

「答えがない中で自分なりの答えを考える教育」

が大事になる。

だから教育のあり方自体も変わらないといけない

となります。

実のところ、先進国全体の国民のIQが下がる戦略

ってのが大きく取られていまして

それで今

先進国民全体のIQが下がっていると指摘されますが

これは極めて政治的なものですよね。

日本でも長文を読む人がいなくなって短文が好まれるように

なってるけど

実際それは大きな戦略によるものだ、  
というのは多国籍企業のネット関与、影響力増加を見れば  
明白です。

だからこれから教育自体も思考力重視の教育に

代わっていかざるを得ないですし

それはもうアジア国では出てる現象でして

日本もいずれ数十年経過したら

そうなっていくでしょう。

「答えがない時代」とか言いますが

例えばそれは億トレーダーの言論見ても分かると思いますが

ある人は「トレンドラインは重要だ」と言うし

ある人は「トレンドラインは要らない」と言う。

それはその人なりの答えなんだけど

その答えはいくつもあるわけです。

負ける方法は少ししかないんですが

勝つ方法は沢山あるわけですね。

この辺が体感的に分かっているとこれからの時代

大変強いのだと私は思いました。

これから世界全体が多極化していく中で

あらゆるものが多極化していきますので

それに備えておきたいところです。

では！

追伸 2 . . . ちなみにマレーシアではもう

その傾向が良く見えていて

例えば「マレーシアで流行してるものは何か？」

というところ、答えられません。

何故かと言うと、マレー系が熱狂してるものと

中華系が熱狂してるものと

インド系が熱狂してるものは違うからです。

日本のように例えばポケモン GO が流行したから

みんながポケモン GO をするか？というところ

違うんですね。

だから趣味も多極化するんですね。

みんなが一つのことに熱狂するなんていう

全体主義的な価値観自体がこれから

趣味も多極化していくため

かなり希薄になっていきそうです。

大きな世界の覇権が多極化すると  
ほんとあらゆることが多極化していくわけです。

だから価値観としては

「みんなに好かれない」みたいな人は

苦しくなるんだけど



「別にみんなに好かれなくていいや

分かってくれる人だけ分かってくれればよい」

くらいのスタンスの人が幸せになりやすいでしょうし

それが時代に適合した考え方になりそうです。

日本なんかも趣味の多様化はやたら進んでると思いますが

これからもっとそれが世界の多極化とともに

進んでいくってことですね。

世界のルール自体が変わっていくから

それがあらゆるもののルールに影響を及ぼすというのが

政治の面白いところですから

それに今のうちから気づいておくと

時代変化に対応しやすいかと私は思います。

では！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【以下は現在メルマガで行っている、  
証券会社のトレーダーランキングでも3位になった

年収6億円FXトレーダー・山之内の  
トレード講座です！

学ぶ意志のある人は職歴、学歴、前科問わず  
学べます。投資の良いところは機会平等があるところです】

(現在 中級編までブログ更新)

山之内流【プライスアクション】についての  
動画です！

⇒ <http://yamanouchi-school/?p=238>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

NEW！【中級編・FX動画！！】

山之内流のグランビルの法則とダウ理論について

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=233>

【初級編は以下です！】

山之内流 水平線/トレンドラインについて！！

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=177>

【年収6億トレーダーの

「今週の相場解説動画（11月4日～）」が届きました！】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=221>

（直リンク。こちらのページからPC、スマホなどの  
環境で再生可能です！）

【新・動画！】山之内流「必勝のチャート」とは！？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=115>

【年収6億円】山之内流

トレンドとレンジの見分け方

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=89>

【動画】年収6億のマインドセットとは？

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=72>

＜動画＞【年収6億のFXトレーダーが「ろうそく足」を語る！】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=86>

＜動画＞【FXで年6億円を稼ぐ

山之内流 時間軸の法則とは！？】

⇒ <http://yamanouchi-school.com/?p=170>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆